保育の魅力を保護者に伝えるための、

少子化地域の行政との協働プロジェクト

石井　章仁　准教授
(家政学部　児童学科)

1. プロジェクトの目的・方法

1990 年代より顕著になった少子化に加え、コロナ禍を境にさらなる子どもの数の減少が我が国の課題となっている。本プロジェクトは、子どもの数が減少する地域（人口減少地域）において、学生が取材や撮影した素材を冊子にして、保育や子育て支援の魅力や意義などを地域の保護者に伝えることを目的としている。あわせて、学生にとっては、人口減少地域の現状と園の保育の魅力や特色を理解し、保護者や地域社会に向けていかにわかりやすく伝えるスキルが求められている。

なお、協働する保育現場は千葉県睦沢町の町立睦沢こども園であるが、町にあるこども園、小学校、中学校において継続した保育・教育プログラムを展開している。

2. プロジェクトの内容・経過

今回参加した学生（児童学科 3 年 6 名）は、保育の現状や町の特色などを事前に学習し、こども園に 3 回取材に訪問した。訪問時には、保育を観察し、写真の撮影やインタビューなどを行った。すべての取材の終了後、写真の選定や紙面構成を行い、こども園に確認を取りながら校正を進めた。

表 1　取材の内容

① 2022 年 8 月 25 日（第 1 回取材）; 学生が各クラスに入り、午前中の保育を観察し（夏の遊び)、写真を撮影した。また、午後は園内で行われる研修に参加し、保育者の学びについて取材した。
② 2022 年 10 月 26 日（第 2 回取材）; 事前に取材ポイントを絞り、学生が各クラスに入り、午前中の保育を観察し（秋の遊び)、写真を撮影し、インタビューも行った。
③ 2022 年 12 月 21 日（第 3 回取材）; 事前に取材ポイントを絞り、学生が各クラスに入り、午前中の保育を観察し（冬の遊び)、写真を撮影し、インタビューも行った。特に、子育て支援や地域との連携などについて取材を行った。

3. 取材のまとめと冊子「むつざわっ子のはじめの一歩」の作成



図 1　表紙・裏表紙



図 2　目次・教育保育目標等



図３　こども園の遊びと四季



図４　遊びの中で育つきずなを大切にしています



図５　人間力が育つ



図６　社会力が育つ



図７　食育・地域や関係機関との関わり



図８　子育て支援・研修・年間行事・コラム

4. まとめ

本プロジェクトでは、学生が主体となって、人口減少地域の保育の理解とその特色をいかに保護者に伝えられるかがポイントであった。最終的に現場の意見を聞きながら、1 つの成果物を作成したことに意義がある。加えて、冊子および PDF データをこども園や教育委員会等から、地域の保護者にむけて発信できるようになればと考えている。まだ、配布したてであり、その効果は分からないが、引き続き検証し、今後の活動に役立てたい。